

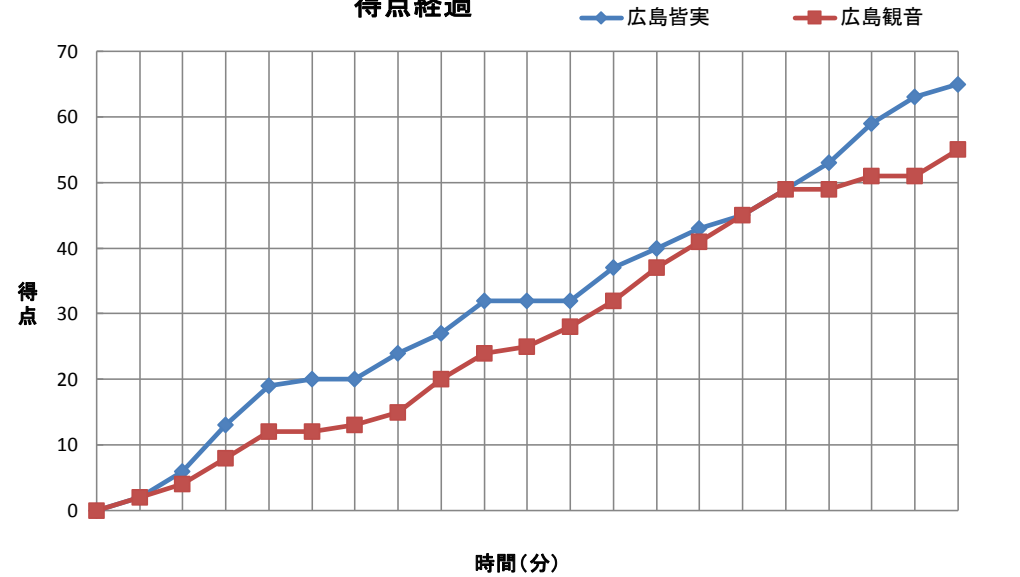


第74回広島県高等学校総合体育大会
バスケットボールの部

個人トータル表

女子		令和3年6月6日		13:00 開始									
決勝		福山大学		0									
◎ 広島皆実		65		55 広島観音									
(広島県)				(広島県)									
		20	1st	12									
		12	2nd	13									
		13	3rd	20									
		20	4th	10									
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	羽原 希美	1	0	0	1	0	* 4	山崎 いづみ	14	0	5	4	3
5	山本 朱莉	0	0	0	0	0	* 5	藤井 明日菜	4	0	2	0	4
6	岩崎 茉美	-	-	-	-	-	* 6	江刺 茉凜	8	0	3	2	0
7	橋本 幸々路	-	-	-	-	-	7	北林 風花	0	0	0	0	1
8	小西 史夏	7	1	0	4	0	* 8	小林 愛花	8	2	1	0	4
* 9	田邊 観愛	10	3	0	1	3	9	高石 美央	6	0	3	0	1
* 10	三次 真歩	12	0	4	4	2	10	横尾 巴菜	0	0	0	0	0
* 11	土屋 さくら	3	1	0	0	2	11	吉永 百奈	-	-	-	-	-
12	林 陽菜実	0	0	0	0	0	12	竹倉 かのん	-	-	-	-	-
* 13	藤田 涼音	2	0	1	0	2	13	川原 花梨	-	-	-	-	-
14	森田 花菜	17	3	4	0	3	14	沖 花 純	0	0	0	0	0
15	西名 真渉	-	-	-	-	-	* 15	山本 莉香	13	1	4	2	4
16	松前 結奈	-	-	-	-	-	16	山根 宇絵	-	-	-	-	-
17	平田 彩光	-	-	-	-	-	17	安田 結萌	2	0	1	0	1
* 18	大上 粹奈	13	0	6	1	2	18	大亀 あおい	-	-	-	-	-
コーチ	村井幸太郎					0	コーチ	小松 広道					0
Aコーチ	村上幸代						Aコーチ	田中満子					
合計		65	8	9	10	12	合計		55	3	18	8	17
主審: 市川 雄介													
副審: 森原 隆		戦評: 竹内 優香											
副審: 三島 彩		記録: 國岡 沙奈											

得点経過



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:
TeamB	15:58	19:41	33:29	:	:	:

〔戦評〕 スタートは、広島皆実が#9.10.11.13.18。広島観音が#4.5.6.8.15。
 1P 両者マンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がりから両者粘り強いディフェンスと鋭いドライブで攻めるが、点が動かず。開始2分、広島皆実#10のハイポストからのドライブ、ポストプレーで得点が動く。広島観音も落ち着いて#4、#15の1on1からドライブで得点を伸ばしていく。残り5分、広島皆実センターを中心とした攻めで仕掛ける。広島皆実#18、10を起点にゴール下にボールを集め得点していき、点差を広げていく。広島観音は、相手のビックマンに対して早いカバーからスティールを増やし、速攻でバスケットカウントをもらう。追い上げにかかるが、広島皆実の勢いを止められず、点差は広がって20-12で広島皆実リードで1Q終了。
 2P 広島皆実マンツーマンディフェンス、広島観音は3-2ゾーンを展開。広島観音は広島皆実#18を守り、外からのシュートを誘発。リバウンドから#4を起点に速攻からの得点を重ねる。
 一方、広島皆実力は強いリバウンドから速攻を続け、#18のセンタープレー、#10、11の1on1で内外ともにバランスよく得点を重ね、広島観音は、前半1つ目のタイムアウトを請求。広島観音は、早いボール展開から#8がスリーポイントを立て続けに2本、#5のジャンプシュートから得点を重ねる。32対25と追い上げをみせ、前半を広島観音が点差を7点差に縮め、2P終了。
 3P 広島観音#8のスリーポイントシュートから試合が始まる。広島観音のビックマンに対して早いカバーとボールマンプレッシャーに思ような攻めができない広島皆実。広島観音のディフェンスに苦しみながら、広島皆実#18のポストプレー、#8の力強いドライブとタイミングの良いスリーポイントシュートでリードを譲らない。残り3分半、広島観音の#6のスリーで39-40と1点差まで縮める。広島観音#4を起点に、合わせからゴール下シュートを決め勢いにのる。残り1分、広島観音#6の粘り強いリバウンドからのシュートで43-43の同点、さらに#15からの華麗なアシストから#6が決め逆転に成功。しかし、両者ファールゲームで皆実#10がフリースローをきめ、45-45と同点に戻し3P終了。
 4P 広島観音は3-2ディフェンス、広島皆実はずマンツーマンディフェンスで4P開始。勢いに乗った広島観音の#4のジャンプシュートで点差を開けにい。しかし、広島皆実#9のスリーで49-48と差を開かせない。18が2本フリースローを沈め、同点となる。その後、広島皆実の#14の2本続けての得点で、たまたま広島観音はタイムアウト。広島観音はタイムアウト後、#5のジャンプシュート、激しいディフェンスで勢いを戻しにい。残り4分で51-59。広島皆実#14から#18に合わせ51-61となる。広島観音守りをマンツーマンに戻し、ボールマンにプレッシャーをかけてミス誘う。試合残り1分を切り、広島観音はダブルチームで相手のミスを誘い速攻から追い上げを見せるが、最後は、広島皆実がフリースローを落ち着いて決めていき、55-65で試合終了。
 広島観音の全員でリバウンドに飛び込む姿と最後まで果敢にゴールに攻める姿は、会場の人々を魅了した。勝利した広島皆実の選手には、8月に新潟で行われる総合体育大会での活躍を期待したい。